

事例 17 缶ビールを開けたところカビが発育していた。

検査結果：ペニシリウム (*Penicillium*)



写真説明：缶ビールに発育した黒いカビのかたまり（左上、左下）。培地に発育したペニシリウムの集落（右上）。ほうきのような形が特徴のペニシリウムの顕微鏡写真（右下）。

メモ：カビが目に見えるまでになるのには、2日程度はかかる。おそらく、缶を開けて2～3日またはそれ以上経っていると思われる。

事例 18 居酒屋で出された日本酒にカビ様異物が沈んでいた。

検査結果：ペニシリウム (*Penicillium*)



写真説明：グラスの底に沈むカビ様異物（左）。顕微鏡で見たペニシリウム（右上、右下）。微分干渉顕微鏡で見た立体的な写真（右下）。

メモ：客に日本酒をいれて提供するトックリ型のガラス製容器にカビが生え、その容器の洗浄不足から、日本酒に混入した。

参考：日本酒をつくる時はアスペルギルス・オリゼというコウジカビで発酵させる。